

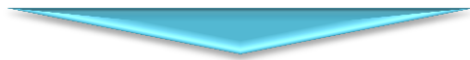
I 高度医療・先進的な医療提供体制の将来にわたる進展

～ 大学病院等が集積する東京の「強み」を生かした、医療水準のさらなる向上 ～

<現状>

特定機能病院等の集積

- ▶ 東京には、高度医療・先進的な医療を提供する大学病院本院、特定機能病院等が集積
- ▶ がん医療や難病に関する医療等、高度医療・先進的な医療を求めて、都内全域や他県からも患者が流入



<2025年に向けた取組の方向性>

<課題①>

医療提供体制の充実

都内に集積する特定機能病院等の機能の充実を図ることにより、医療提供体制を更に充実させることが必要




- ▶ 大学病院等の高度医療・先進的な医療を担う医療機関は、全国から集まる症例を基に、高度医療の提供、開発及び評価並びに研修等を実施
- ▶ それぞれの専門性を生かしながら、相互に連携することで、東京の医療ニーズ等を踏まえた医療提供体制を充実

<課題②>

情報提供の推進


適切な受療行動を促すため、高度医療提供施設の役割や機能等について、都民等に分かりやすく情報提供していくことが必要

- 
- ▶ かかりつけ医・かかりつけ歯科医・かかりつけ薬剤師等による患者への十分な情報提供
 - ▶ がんポータルサイトや医療機関案内サービス「ひまわり」等により、特定機能病院等の医療機能等についての情報を都民に提供

<課題③>

医療機関間の連携強化


患者が、大学病院等での治療の後、住み慣れた地域で治療を継続できるよう、医療連携を強化することが必要

- 
- ▶ 大学病院等と地域の医療機関や就労先付近の医療機関と、連携体制の強化や患者の診療情報の共有化を促進

<課題④>

キャリアアップ支援

13大学や、大学病院等の高度医療を担う医療機関が集積する強みを生かし、医療従事者の資質向上を図っていくことが必要

- 
- ▶ 都内の大学や大学病院等が専門性を生かし、卒後教育を行うことにより、医師、看護師等の医療従事者の資質向上を促進